

第6回 高浜小・三村小・関川小・南小統合検討委員会 要旨

日 時 令和4年8月8日（月） 午後7時から午後8時25分
場 所 市役所本庁 201・202 会議室
出席者 統合検討委員 18名
事務局 吉澤部長，柴田次長，朝賀参事，坂入課長，須加野室長
小河原副参事，雨貝補佐，森島係長，鬼澤主幹

次 第

1. 開 会
2. あいさつ
3. 協議事項
 - (1) 統合小学校の学校名について
 - (2) 今後の対応について協議
 - (3) その他
4. 閉 会

決定事項等

・学校名について今後どのように進めていくのか、今回の意見なども踏まえて次回協議決定をおこなう。

次第に沿って，3の協議事項に進む。

(委員)

資料にもあるが、アンケート結果では7割が校名は南小のままで良いと回答している。そのうえで、統合検討委員会ではあたらしい校名にしたいとなった。

(委員)

学校の場所は南小だが、あたらしい学校をつくっていくということで、これまでも協議を進めてきた。学校名について委員会としての考えを出していくなかで、その部分も大きく関係してきていると思う。

(委員)

今後、協議を進めていくためにも、学校の名称を変更して「石岡みなみ」としていきたいとしたことについて、民意を問う必要があるのではないか。

(委員)

事務局ではどのように考えているのか。

(事務局)

事務局としては、今回、学校名をどのように決めていくといった広報がされておらず、結果だけをお知らせするかたちになってしまった。地域の方は、いきなり南小の名前が変わると知らされたことになり、その部分について反省をしている。

今後の対応については、統合検討委員会の意見を尊重しつつ、事務局としての考えをお伝えしていければと思う。

現状として、校名アンケートの結果と反しているとの意見が地域から挙がっている。この部分について、議会へ校名変更の議案を出した際の説明が困難であると考えている。

(委員)

アンケートの結果を尊重すべきとの考えと、統合検討委員会で校名を変更したいとなったこと。お互いの主張が平行線となっている現在の状況からすれば、改めて民意を問うことが必要ではないか。方法としてはアンケート等になるかと思う。

(委員)

学校の場所は南小だが、あたらしい学校をつくっていくということで、統合の協議がスタートした。南小のまま何も変わらない統合では、大きなところに入っていく少数の子どもたちは、仲間はずれにされてしまうのではといった懸念もあった。そういった想いで話し合いを進めてきた。

アンケートをおこなうのであれば、単なる二者択一ではなく、これまで時間を費やし、話し合いを進めてきた想いなども盛り込み、理解したうえで回答いただきたい。これまでのアンケートは、結果を重視するのではなく、協議の参考にするといった意味合いで進めてきた。その部分が今となってはいけなかったのかとも正直思っている。

(委員)

集計結果には反しているかもしれないが、校名を「石岡みなみ」へと変更するとした統合検討委員会の結果について、賛同いただけるかどうかの署名を集めて、それを民意とすることもできると思う。

(委員)

もしアンケート等を実施するのであれば、これまでの経過も踏まえて方法や設問、結果の取り扱いと議会への説明についてもしっかりとできるよう、きちんと精査したうえで進めていく必要がある。

(委員長)

本日、限られた時間で結論を出すのは難しいと思う。次回、今回の意見も踏まえて今後どのように進めるのが良いか協議したい。それまでに、地域やPTAで挙がってきた意見があれば、併せてお知らせいただきたい。

(事務局)

議会での議決が必要な部分について、補足説明をさせていただきたい。統合の進捗については、随時議会へ報告していく。校名の変更については、学校設置条例の変更が必要となり、議案として提出が必要になる。事務局としては、統合検討委員会の意思を尊重したいと思うが、今回、アンケートの集計と反した結果になったことに対して、合理的な説明ができないといった部分で、賛同いただけない恐れがある。

また、統合に係る予算についても議決が必要になる。その他、石岡市立小中学校統合再

編計画については、議決事項ではなく教育委員会で策定し、議会へ計画立案の報告を行ったかたちになる。

学校名についてはとても重要な部分だと認識している。今後も、子どもたちがより良い環境で安心して生活できるよう、引き続き協議をお願いしたい。

終了時刻 午後 8 時 25 分